

- パラフィン切片にも対応
- たった約8時間でアッセイ終了
- 1コピーのRNAから検出できる

RNA ISHの新次元 RNAscope®

RNA in situ

ハイブリダイゼーション セミナー開催！

決定

日時：9月28日(木) 15:00～16:30

セミナー場所：長崎大学遺伝子実験施設

最新の検出機器

新登場のデジタル蛍光顕微鏡

EVOS FL Auto2セミナー&実機展示 同時開催



講師：望月 明日香 博士(医学)

(フィールド・アプリケーション・サイエンティスト、Advanced Cell Diagnostics社)

RNA ISHは煩雑で難しい...はもう古い！
ユニークなプローブデザインとその増幅方法
によって、FFPEや凍結組織、細胞サンプルの
RNAを1コピーから検出でき、ターゲット遺伝
子の発現と細胞内局在を検証できる
それが新テクノロジー RNAscope®です。



実施例と共に、RNA ISHの基礎からご紹介します！

ACD
a biotechnique brand

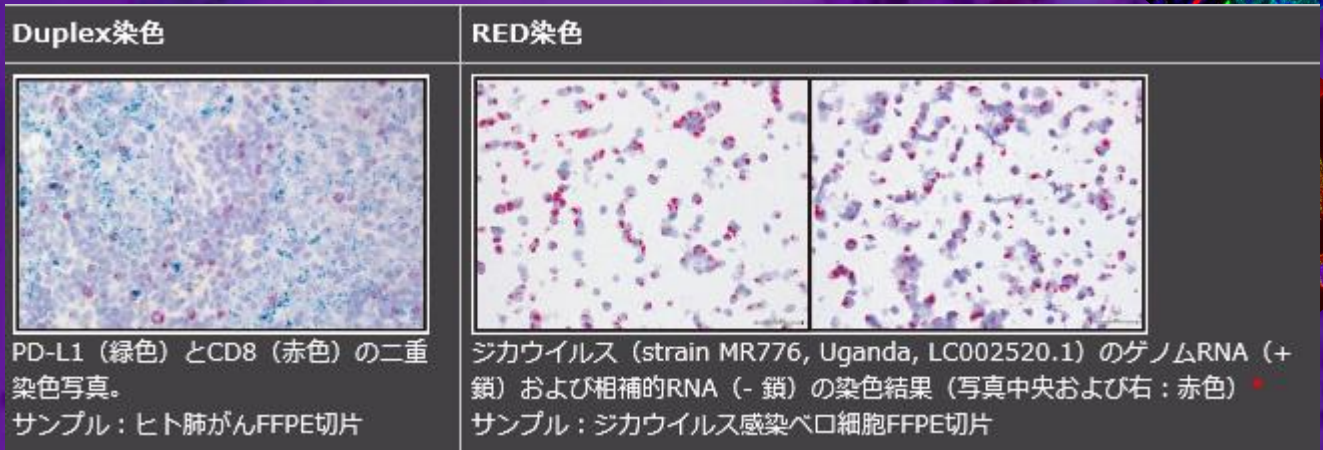
RNAscopeに関するお問合せ：

ACD ジャパン 望月 明日香

e-mail : amochizuki@acdbio.com

RNAscopeの概要

RNAscope®とは、FFPE組織、凍結組織、培養細胞等のサンプル中の mRNA を、独自の RNA *in situ* ハイブリダイゼーション (ISH) 法により検出・視覚化する新しいテクノロジーです。

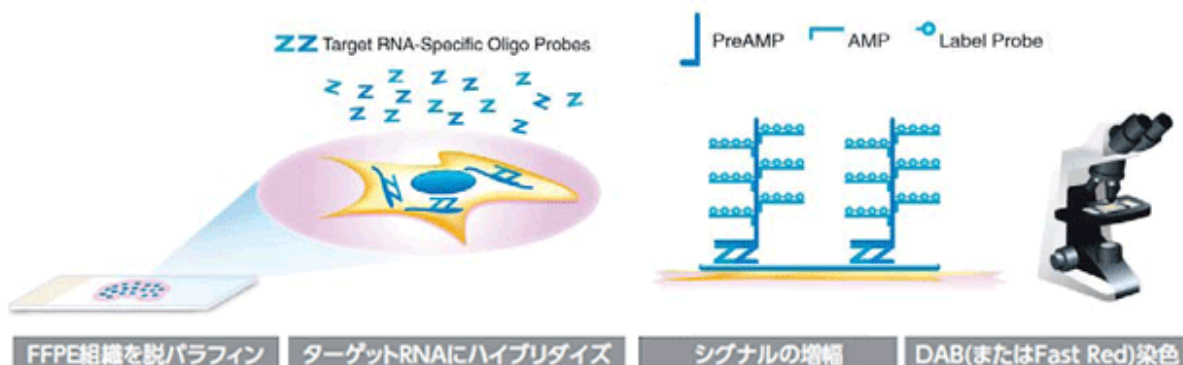


・RNA1分子のシグナルを8,000倍に増幅する為、超高感度での検出が可能です。

シンプルなワークフロー。
組織・細胞内のRNAを1コピーから検出

① 前処理 ② ハイブリダイズ ③ 増幅 ④ 染色

非常にシンプルなワークフローです。
ハイブリダイゼーションステップ：1) Target probe 2) PreAMP 3) AMP 4) Label probe



1. 各サンプルに最適化された条件で前処理 (脱パラフィン、賦活化等)。
2. ターゲットmRNAに特異的“ZZ”プローブペアをハイブリダイズ。
3. PreAMP→AMP→標識プローブを順番に反応させてシグナルを増幅。
4. 増幅したシグナルを発色法 or 蛍光法により検出、鏡頭。

<参考文献>

RNAscope®: a novel *in situ* RNA analysis platform for formalin-fixed, paraffin-embedded tissues.
Wang F, et al. (2012). *J of Mol Diagnostics*, 14(1), 22-29. [PMID : [22166544](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/22166544/)]